災害対策

問　今定例会において、区長会長から海岸線の津波・侵食緊急対策を求める請願書が提出されている。これらを踏まえて、市長には国・県との対応を求めたい。

答　国・県への対応状況について、国・県への要望のため、すでに千葉県市長会などに対し、北九十九里海岸の保全事業及び津波対策等に関する要望書を提出しています。

現在、県では千葉東沿岸海岸保全基本計画に基づき、高潮対策を主とした海岸保全事業を実施していますが、東日本大震災を受け、計画の早急な見直しを検討中で、予定では、年内に沿岸すべての首長が参加する検討委員会を立ち上げ、年度内に津波対策を含めた計画の変更を行うとのことです。

検討委員会への参加にあたっては、地域の皆さんの考えも伺いながら、近隣首長との連携のもと、安心・安全な地域社会の実現と早急な事業実施に向け、積極的に提言していきたいと考えています。

問　災害時の緊急用の井戸について、市内には手押しポンプが28基整備されているが、水質検査を行ったのはたった1基だけとのことである。すべての井戸の水質検査の方針は。

答　緊急用井戸の水質検査については、やはり必要不可欠であると認識しています。

現在、下出羽コミュニティセンターの井戸について、水質検査の要望をいただいています。

今後、10月に実施する防災訓練に合わせ、各地区へ説明会等に伺う予定ですので、その説明会の中で地区の意向を確認しながら取り組んでいきたいと考えています。

問　本市の基幹産業は、農業と植木である。そのため、日中は家の中より屋外で働くことが圧倒的に多い。屋外にいる方々のためにも市の中間地区に防災無線の屋外子局があった方が安全だと思う。防災無線屋外子局の増設についてどのように考えているか。

答　現在、市では津波避難計画を策定中で、その計画の中で本市独自の津波警戒区域等の設定を検討しているところです。

また、国・県においても津波対策や地域防災計画の見直しを進めているところで、屋外拡声子局の増設については、国・県の検討結果と整合性を取りながら、検討していきたいと考えています。

問　山武市は、本市、旭市、横芝光町に協力を要請し、有料道路の建設を求めるとのことである。防波堤の役割と災害時の堤防としての機能を兼ねた道路建設を近隣市町と一緒に、国・県へ要望しては。

答　津波対策について、保安林防護のための土塁が津波の越波を食い止めたとの県の報告もあり、また、ご提案の防波堤と災害時の堤防の機能を兼ねた道路建設についても、津波に対し効果があると実証されています。

現在、県では、地域の意見を聞きながら千葉東沿岸海岸保全基本計画の見直しを進めていくとのことですので、近隣市町と連携しながら、早急な事業実施を働きかけていきたいと考えています。

問　黒松通り整備事業について、この事業が完成すれば栢田から今泉まで、たまった水を一気に新堀排水機場でくみ出すことができる。事業の進捗状況は。

答　黒松通り整備事業の状況について、事業の実施に向け、保安林を管轄する千葉県北部林業事務所と、保安林の解除についての協議を重ねてきたところですが、残念ながら現在のところ協議は調っていません。

保安林の土塁が津波に有効であったとの報告もあることから、現状では保安林解除は、さらに難しくなることが予想されます。

また、津波災害があったことから、県が実施している海岸保全事業も見直されることが確実視されており、これらの状況から、当分の間、黒松通り整備事業は休止せざるを得ないと考えていますが、かねてから地元の要望がある主要地方道飯岡一宮線南側地域の排水整備については、実施に向けて検討していきます。

問　公共施設の建設基準について、東日本大震災を教訓として、今後の新設工事または改修工事に対しての市の方針は。

答　公共施設の建設基準について、東日本大震災を教訓とした市の方針は、まず何よりも既存建築物の耐震強度を確保することが最も重要と考え、現在、計画的に施設の改修事業を行っているところです。

また、今後、建設を予定している、特に教育施設の建設にあたっては、匝瑳市地域防災計画に基づき、避難所となることなどを想定し、防災機能の整備に関しても検討していきたいと考えています。

小学校跡地

問　米倉分校と飯高小学校跡地の利用について、利用を希望する市民への貸し出しを検討しては。

答　小学校跡地の貸し出しについて、施設の利活用については、新生匝瑳戦略会議に市の懸案事項として検討を依頼しているところです。

戦略会議では、机上の議論だけではなく、施設の立地や環境を把握するための現地調査を行い、10月に予定している中間報告の取りまとめに向けた検討が進められています。

旧飯高小学校の貸し出しについては、平成22年7月20日付けで飯高地区区長会長と教育長の間で覚書を取り交わしており、今後の本格的な利活用の妨げにならないことを確認した上で、貸し出しをしています。

また、旧米倉分校については、現在、施設の一部を「つどいの広場」として活用しており、現行の事業運営にも十分配慮の上、対応したいと考えています。

問　旧飯高小・飯高保育所跡地利用について、地域コミュニティの拠点であった飯高小学校を失った飯高地区民の一番の願いは、人のにぎわいを取り戻すことである。施設の利活用の方針は。

答　旧飯高小・飯高保育所の利活用については、新生匝瑳戦略会議に対し、市の懸案事項として検討を依頼していますが、地元の要望として、デイサービスセンターや地域住民の集いの場といった地域コミュニティづくりの拠点としての利活用を求める声も伺っています。

現在、戦略会議では、10月に予定している中間報告を当面の目標として検討が進められており、戦略会議からの提案を踏まえて利活用の方針を決定していきたいと考えています。

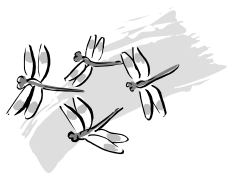
一般質問の質問項目

苅谷　進一　議員
- ○財政健全化計画の今後について
- ○国民健康保険の運営と財源
- ○農業対策支援について
- ○自然災害対策について
- ○老人の健康問題について
- ○仮称新設給食センターについて
- ○学校地震対策について
- ○ごみ処理の広域化計画について

日色　昭浩　議員
- ○防災計画について
- ○介護保険認定制度について
- ○廃校の小学校跡の利用について

佐瀬　公夫　議員
- ○災害時の情報伝達について
- ○避難勧告指示について
- ○津波対策について
- ○学校等の避難場所について

武田　光由　議員
- ○新しい福祉への取り組みについて
- ○地球温暖化対策について
- ○行政改革の取り組みについて

田村　明美　議員
- ○市税・国保税の滞納世帯に対する徴収方針について
- ○新生匝瑳戦略会議について
- ○市防災計画の見直し、充実と実行計画について
- ○福島第一原発事故後の放射線被ばく対策について
- ○平成24年度から使用する教科書の採択について
- ○仮称「市住宅リフォーム助成制度」の創設について
- ○旧飯高保育所施設の利活用について
- ○旧飯高小施設の利活用について
- ○匝瑳市民病院の運営について

山﨑　等　議員
- ○災害時における社会福祉協議会と市の関わりについて
- ○公共施設の建設基準について
- ○汚染状況確認について
- ○汚染測定費用について
- ○生活保護制度について